

北海道石狩湾新港地域工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

石狩湾新港地域工業用水道の給水区域である石狩湾新港地域は、重要港湾として指定されている石狩湾新港を中心とした地域です。

当事業は国が策定した「石狩湾新港地域開発基本計画」の工業用水計画において、この地域の開発に必要不可欠な産業基盤施設と位置づけられ、また、この地域は環境影響評価審議会から、地盤沈下や塩水化の影響が懸念される旨意見が付されたことから実施された事業です。

○事業の経緯

石狩湾新港地域工業用水道は、札幌圏における新たな流通生産基地の創造のため策定された「石狩湾新港地域開発基本計画」の工業用水道計画に基づき、昭和51年度に事業に着手し、最大給水能力35,000m³/日の施設として平成7年度から専用施設の建設を着工、平成11年4月に一期工事が終了し、一部給水を開始しました。

その後、工業用水の需要の低迷から二期工事を中止したため、最大給水能力は12,000m³/日となっています。

また、平成12年4月から需要の拡大を図るため、工業用水給水区域に札幌市の一部を加えるなど工業用水の需要の増加に向けた取り組みを実施しているところです。

○受水企業の概要

(平成18年3月31日現在)

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
食料品	2	195
一般機械	1	42
紙・パルプ	1	60
石油製品	1	85
プラスチック製品	1	35
窯業	4	332
金属	4	255
非鉄金属	2	194
その他	14	1,551
雑用水	1	130
計	31	2,879

○工業用水道施設の概要

本工業用水道は国が石狩川幾春別川総合開発事業として開発をすすめている「新桂沢」及び「三笠ぼんべつ」ダムに参加することにより水源を確保することとしていますが、現在ダムが建設中であるため暫定水利権により水源を確保しています。

取水は石狩川水系豊平川に設けた取水口から取水ポンプにより行っており、水管橋、導水路及び浄水施設を経て、配水ポンプで送水し、延長約37キロメートルの配水管により各受水企業に給水しています。

○事業の特徴

本事業は札幌市中心部から約15キロメートルの港湾である、石狩湾新港を臨む地域に位置しています。

また、平成15年に、石狩湾新港地域は重量物輸送が可能となる「港湾物流特区」として認定され、さらに静脈物流ネットワークの拠点となる「リサイクルポート」として指定されるなど産業拠点として一層の発展が見込まれる地域となっています。

○北海道企業局のホームページアドレス

<http://www.pref.hokkaido.jp/houkatu/kigyou/kg-soumu/>

給水区域図

「この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。 (保証番号) 平17第複製109号」

